

2006年9月1日発行

**WSO-GM-010608**

- 本冊子の一部または全部を無断複写・転載することを禁じます。
- 本冊子の製品に対する記述は情報を提供とする目的で書かれたもので、保証するものではありません。

ADSLモデム

# セットアップ ガイド



## ●本文中の表記について

### ADSL モデム

本文中に記載されている「ADSL モデム」は、以下の機器のことを指します。

- ・ トリオモデム 3-G plus

### モデム用 無線 LAN カード

本文中に記載されている「モデム用無線 LAN カード」は、無線 LAN カード 以下の無線 LAN カードのことを指します。

- ・ 無線 LAN カード V.2

## ●本文中の記号について



してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。



関連する情報が、本マニュアルの他のページにあることを示しています。

- ・ 記載内容は 2006 年 9 月 1 日現在のものです。
- ・ サービス内容および提供条件は、改善等のため予告なく変更することがあります。
- ・ Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Mac OS は米国 Apple Computer Inc. の商標または登録商標です。
- ・ その他、記載されている製品名およびサービス名は、各社の登録商標および商標です。
- ・ 本冊子の本文中では TM、® マークは明記しておりません。
- ・ 「BB フォン」は BB テクノロジー株式会社の提供する IP 電話サービスの名称とインフラ機器を利用し、提供するサービスです。

# 目次

## 安全のために特に注意してください

安全のために特に注意してください	2
------------------	---

## ADSL モデムが届いたら

箱の中身を確認してください	6
LAN アダプタ (カード) とは	8
セットアップの流れ	10
通信機器を接続する	11
電話機の回線種別設定を行う (プッシュ/ダイヤル)	16

## パソコンの設定

ネットワークの設定をする	17
ネットワークの設定をする (Windows XP)	18
ネットワークの設定をする (Windows Me / 98)	24
ネットワークの設定をする (Windows 2000)	29
ネットワークの設定をする (Mac OS 9.1 以降)	32
ネットワークの設定をする (Mac OS X)	34

## インターネットの接続確認

ブラウザでホームページを見る (Windows / Mac OS)	38
-----------------------------------	----

## メールの設定

Outlook Express の設定をする (Windows)	40
Outlook Express の設定をする (Mac OS 9.1 以降)	44
Mail の設定をする (Mac OS X)	47

## ルータ機能の設定

ルータ機能の詳細設定	50
設定の確認、パスワードの変更	61



# 安全のために特に注意してください


ADSL モデムを正しく使用するために、必ずお読みになり、内容をよく理解されたうえでお使いください。

## ご利用前に必ずお読みください

- ご利用の際は本冊子、および ADSL モデムに付属の冊子やチラシなどに従って正しい取り扱いをしてください。
- 本製品の仕様は国内向けとなっています。海外ではご利用できません。
- 本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や、万が一本製品に登録された情報内容が消失してしまうことでの純粋経済損失につきましては、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本冊子に、他社製品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制あるいは保証するものではありません。
- 本冊子、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。

## 使用している警告表示の意味

-  **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
-  **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

 <b>警告</b>
本製品をご自分で修理・分解・改造等目的以外の使用をしないでください。火災や感電のおそれがあります。
本 ADSL モデムのカバーおよび USB のカバーは絶対に取り外さないでください。火災、けが、やけど、感電、漏電などの事故または機器の故障の原因となります。お子様などが万一誤ってカバーを飲み込まれた場合は、すみやかに医師に相談してください。
カバー交換のためカバーを取り外す場合には必ず、事前に電源アダプタを抜いてください。その場合でも、内部が熱くなっておりますので十分な冷却期間をおいてから、カバー交換を行ってください。
プラスチックカバーの内側にある金具（シャーシ）は決して取り外さないでください。感電、やけど、けがのおそれがあります。また機器故障の原因となります。
金具（シャーシ）内側の基板には決して触らないでください。火災、けが、やけど、感電、漏電などの事故または本製品の故障の原因となります。
本製品をお子様が発解したり、内部に触れたりしないようにしてください。感電、やけど、けがのおそれがあります。また機器故障の原因となります。

<p>プラスチックカバーをはずし、内側の金具（シャーシ）や基板が露出した状態では使用しないでください。火災や感電、やけど、けがのおそれがあります。また機器故障の原因となります。</p>
<p>落としたり、衝撃を与えた場合は、すぐに使用を中止して電源アダプタを抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。</p>
<p>煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止して電源アダプタを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。</p>
<p>電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。</p>
<p>本製品の内部に水が入ったり、本製品をぬらしたりした場合は、すぐに電源を切り、電源アダプタをコンセントから抜いて、当社にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。</p>
<p>本製品内部に液体・金属・たばこの煙などの異物を入れないでください。</p>
<p>本製品の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電源アダプタをコンセントから抜いて、当社にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。</p>
<p>本製品の通風孔をふさがしないでください。通風孔をふさぐと本製品の内部に熱がこもり、火災、機器故障の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・じゅうたんやカーペット（床暖房を含む）、布団などの上に置く</li> <li>・テーブルクロスなどの布やレースを本製品に掛ける</li> <li>・本棚、タンスの中、押し入れの中など風通しの悪い場所に置く</li> <li>・紙、本などをのせたり立て掛けたりする</li> </ul>
<p>電源アダプタコードを束ねたり、許容量以上の配線はおやめください。火災の原因となることがあります。</p>
<p>電源アダプタをコンセントから抜くときは、必ず電源アダプタの本体を持って抜いてください。電源アダプタコードを引っ張るとコードが傷付き、火災・感電の原因となることがあります。</p>
<p>本製品は場合により熱くなる場合がありますので、本製品の周辺に紙、布等燃えやすいものは置かないようにしてください。</p>
<p>本製品を取り付け・使用する際は、必ず使用するパソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示に従ってください。</p>
<p>本製品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。</p>
<p>故障の原因となりますので、本マニュアルで指定された以外の機器は取り付けしないでください。万一、機器などに不具合が発生しても弊社としては一切責任を負いません。</p>
<p>本製品に触れ続けないでください。使用中に本製品表面が熱くなり、低温やけどを起こすおそれがあります。低温やけどは、一定箇所に発熱体が触れたままになっているときなどに、肌に紅斑（こうはん）、水泡（すいほう）などの症状を起こすやけどのことです。特に肌の弱い方などはご注意ください。</p>

## 注意

<p>電源アダプタがコンセントに接続されているときは、ぬれた手で本製品にさわらないでください。感電の原因となります。</p>
<p>本製品をふる場や加湿器のそばなど、湿度の高い所で設置および使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。</p>

## 安全のために特に注意してください

電源アダプタは、必ず付属のものを使用し、それ以外のものは絶対にお使いにならないでください。火災・感電の原因となることがあります。
電源アダプタは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。
本製品はスタンドを下に、正しい向きに配置してください。横置きにして使用した場合、内部の温度が上がり、火災や機器故障の原因となることがあります。
付属の電源アダプタは、ADSL モデム以外で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
直射日光の当たる所や、ストーブ、ヒーターなどの発熱器のそばなど、温度の高い所に置かないでください。内部の温度が上がり、火災や機器故障の原因となることがあります。
本製品の上に物をのせないでください。高温による火災の原因となることがあります。
近くに雷が発生したときは、電源アダプタをコンセントから抜いてご使用をお控えください。落雷によって、火災や感電、機器故障の原因となることがあります。
静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除くようにしてください。人体などの静電気は、本製品を破損、またはデータ消失・破損させるおそれがあります。
長期間で使用にならないときは、安全のため必ず本製品の電源アダプタをコンセントから抜いてください。

## お願い

- ベンジン、シンナー、アルコールなどで本製品をふかないでください。本体の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤を付けた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
- 電源を再投入する場合、電源を切った状態から 30 秒以上経った後、電源の再投入を行ってください。これを守らないと故障の原因となることがあります。

## ■ ADSL モデムの仕様

### < 主な仕様 >

トリオモデム3-G plus	
外寸 無線 LAN カード非装着時 無線 LAN カード装着時	25 (H) × 7 (W) × 14 (D) cm 25 (H) × 7 (W) × 14 (D) cm
質量	本体：約 540g、AC アダプタ：約 450g
電源	AC アダプタ
入力	100V (50/60Hz)
出力	AC16V/1.1A
最大消費電力	16W
動作温度	5℃～40℃
動作湿度	15%～85%以下 ※ただし結露なきこと

### < 通信に関する仕様 >

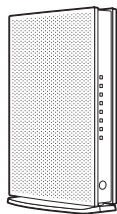
	WAN		LAN		無線 LAN	
準拠規格	Multi-mode, compatible with ANSI T1.413 Issue 2 ITU-T G.992.1 (G.dmt) Annex A/C G.992.2 (G.lite) Annex A/C ADSL + / クワッドスペクトル ADSL / G.994(G.hs)		IEEE 802.3/ IEEE 802.3u/ IEEE 802.3x		IEEE802.11b/g (自動認識)	
伝送速度	50Mbps/3Mbps		10/100Mbps (自動認識)		[802.11g] 54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (速度自動切り替え)	
その他	WAN ポート	RJ-11 (1ポート)	LAN ポート	RJ-45(4ポート)	周波数帯	2.4GHz 帯
					チャンネル数	1～13ch(自動設定時1～11)
					アンテナ方式	ダイバシティ方式(内蔵型)



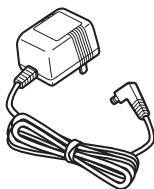
# 箱の中身を確認してください

ADSL モデムが届いたら、箱の中身が揃っているかどうか確認してください。また、お客様でご用意いただくものも確認してください。

## ■ ADSL モデムの箱に入っているもの



ADSL モデム



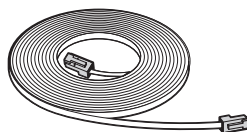
電源アダプタ  
(1 個)



説明資料



モジュラーケーブル  
(黄色・緑色 各 1 本)



LAN ケーブル  
(青色 1 本)

※製品の外観は実際と異なる場合があります。

※ ADSL モデムにはスプリッターが内蔵されています。

## ■ お客様にご用意いただくもの

### ・パソコン

Windows 98/98SE/Me/2000/XP、Mac OS (Open Transport2.7 以上) でのご利用を推奨。

### ・100Base-TX に対応した LAN アダプタ

ノートパソコンの場合、PC カードタイプの LAN アダプタか USB ポート接続の LAN アダプタが必要。

※ 10Base-T 対応の LAN アダプタでもご利用いただけますが、そのサービスの速度を十分に活用いただけない場合があります。

※ LAN アダプタ (カード) について、詳しくは次ページからの説明をご参照ください。

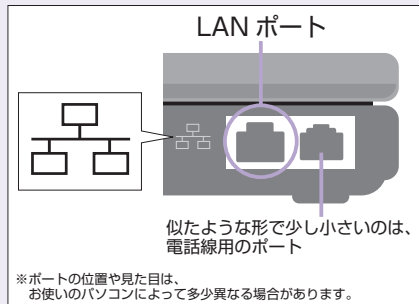
- ブロードバンドコンテンツを快適にお使いいただくためには、3 年以内に発売されているパソコンを推奨しております。
- Windows 95 につきましては、LAN アダプタなどのインストールの簡便さやネットワーク機能の仕様、マイクロソフト社のサポートが終了していることなどから、サポート対象外とさせていただきます。
- Mac OS では、Open Transport のバージョンが 2.7 以上でのご利用を推奨しております。Open Transport のバージョンが 2.7 以上でない場合は、OS あるいは Open Transport をアップデートしてください。Open Transport のバージョンが 2.7 以上となるのは、Mac OS 9.1 以上あるいは Mac OS 10.0 以上の場合です。それ以前のバージョンでもご利用いただける場合がありますが、接続を保証するものではありませんのでご了承願います。
- TCP/IP プロトコルおよび DHCP によって IP アドレスが取得できるネットワーク設定が可能な OS であれば、Linux などの PC UNIX や Windows NT などの OS でも利用可能ですが、上記 OS 以外はサポート対象外となります。
- 対応は日本語 OS のみになります。

# LAN アダプタ（カード）とは

LAN アダプタとは、コンピュータを LAN（オフィス、家庭内など限定されたエリアで使用するネットワーク）に接続するために必要な機器のことで、パソコンと ADSL モデムとの接続に必要です。LAN アダプタはパソコン本体に内蔵されていることもあります。そうでないパソコンには後から取り付ける必要があります。その場合はカード型の LAN アダプタをパソコン本体の拡張スロット（差込口）に挿入する方法が一般的です。このような LAN アダプタは、LAN カードと呼ばれることもあります。

## ■お使いのパソコンが LAN アダプタ内蔵かどうか確認する

お使いのパソコンが LAN アダプタ内蔵かどうかは、LAN ポートの有無で判断できます。パソコン本体の背面や側面に LAN ケーブルを接続する LAN ポートが用意されていれば、LAN アダプタ内蔵です。たいていの場合、LAN ポートには右図のようなマークがついているので、こちらを目印にすると良いでしょう。



LAN アダプタ内蔵かどうか、ご自分で判断が難しい場合には、パソコンのメーカーにお問い合わせください。

お使いのパソコンが LAN アダプタ内蔵の場合は、特に何も用意する必要はありません。そのまま ADSL モデムを接続してください。LAN アダプタが内蔵されていない場合は、別途、LAN アダプタが必要です。

## ■ LAN アダプタ（カード）を用意する

LAN アダプタをご用意される場合は、1. 「100Base-TX」対応であること 2. お使いのパソコンに対応していること の2点をご確認ください。

LAN アダプタは、電機店などで販売されています。  
また、「ValuMore！（バリュアモア）」（<http://valumore.jp/>）でもご購入いただけます。

## 1. 100Base-TX 対応である

弊社が提供する ADSL サービスでは 100Base-TX という通信規格に対応した LAN アダプタをお使いいただく必要があります

※ 10Base-T 対応の LAN アダプタでもご利用いただけますが、サービスの速度を十分にご活用いただけない場合があります。

## 2. お使いのパソコンで利用可能である

パソコンの機種によってご利用可能な LAN アダプタは異なります。規格や種類によっては利用できない LAN アダプタもありますので、必ずご利用のパソコンに対応した LAN アダプタを確認してからご購入ください。LAN アダプタの選択や具体的な取り付け方法については、パソコンに付属の取扱説明書などをご覧いただくか、パソコンメーカーや LAN アダプタのメーカーにお問い合わせください。

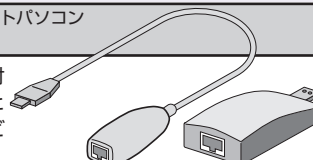
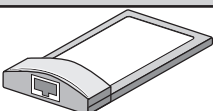
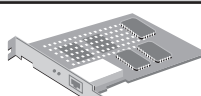
LAN アダプタのご利用には、パソコンに LAN アダプタを取り付けるだけでなく、パソコン側にドライバ (LAN アダプタを利用するために必要なソフトウェアのこと) をインストールする必要があります。\* 具体的なインストール方法は、LAN アダプタに付属の取扱説明書などをご確認ください。

※ Windows XP のパソコンをご利用の場合には、ドライバのインストールが不要な LAN アダプタもあります。LAN アダプタに付属の取扱説明書などをご確認ください。

### 【参考：代表的な LAN アダプタ】

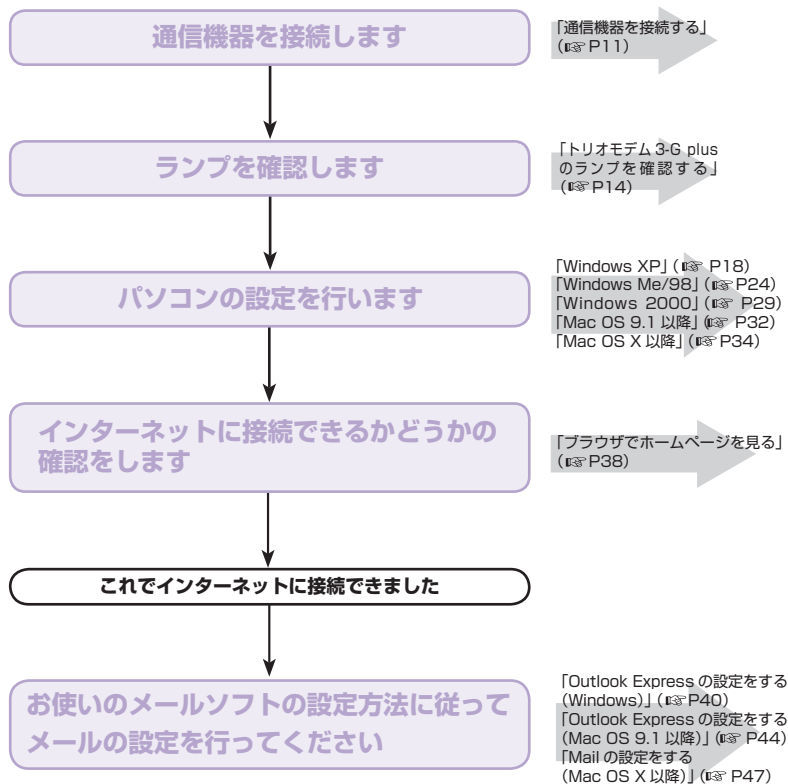
LAN アダプタには、主に 3 つのタイプがあります。お使いのパソコンに適したタイプのものをお使いください。

! 下記の分類はあくまでも一般的な目安です。ご利用の環境によっては当てはまらない場合があります。必ずご利用のパソコンに対応した LAN アダプタをご確認のうえご購入ください。

<b>USB 接続タイプ</b>	デスクトップパソコン/ノートパソコン (USB ポートがあるもの)	
USB ポートに LAN アダプタを接続するだけで簡単に取り付けられます。PCI バスタイプ/PC カードタイプと比較すると多少通信速度が低下するため、弊社が提供する ADSL サービスの速度を十分にご活用いただけない場合があります。		
<b>PC カードタイプ</b>	ノートパソコン (一部のデスクトップパソコンでは利用可能な場合もあります)	
パソコンの PC カード用のスロットに差し込んで使用します。		
<b>PCI バスタイプ</b>	デスクトップパソコン (PCI 接続対応の拡張スロットがあるもの)	
パソコン本体のケースを開けて、拡張スロットに取り付けて使用します。比較的、安価で購入でき、通信速度も十分です。なお、通常のサイズのものとは小型カード (Low Profile) の 2 種類がありますので、拡張スロットがどちらのタイプか確認してからご購入ください。		

# セットアップの流れ

ADSL モデムのセットアップは、次の順序で行ってください。



◆通信機器の接続からインターネットへの接続はこれで完了です。

## ヒント

ルータ機能の詳細設定を行いたい場合は

ネットワーク環境やご利用になるアプリケーションなどにより、ADSL モデムのルータ機能の詳細設定を行いたい場合は、「ルータ機能の詳細設定」(☞ P50) をご覧ください。

# 通信機器を接続する



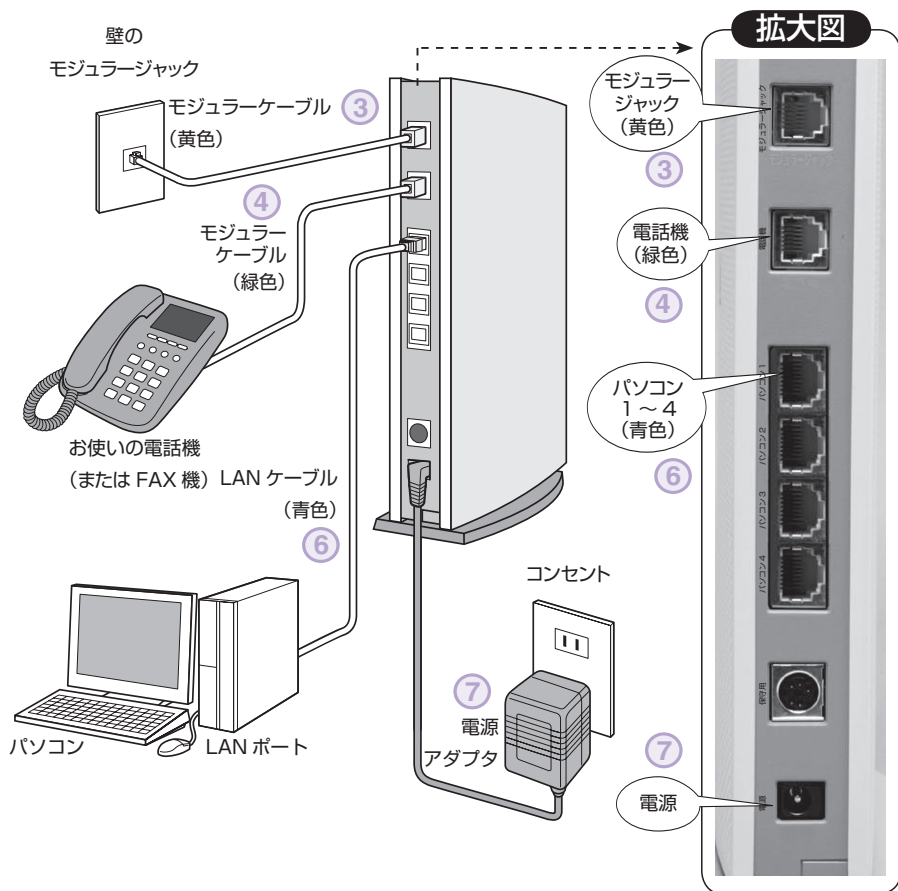
モジュージャックが複数ある場合に、ADSL モデムを接続しないほうのモジュージャックに電話機や FAX 機などを接続すると、電話にノイズが入る、FAX 通信ができないなどの影響が出ることがあります。ADSL モデムを接続しないモジュージャックには、これらの機器を接続しないでください。

## 注意

- 本サービスはベストエフォート型のサービスです。下り最大速度は弊社が採用する技術の論理最大速度であり、電話局からの距離やお客様宅内の環境、今後のアマチュア無線との干渉対策などにより最大速度を保証するものではありません。また開通までにお時間をいただく場合やサービスをご利用いただけない場合がございます。
- ADSL として使用する回線で次のようなシステムを利用されている場合は、弊社 ADSL サービスが利用できない、あるいは不安定になることがあります。  
ホームテレフォン、ビジネスフォン、内線電話、ドアフォンに接続された電話機、ダイヤルイン追加番号、信号監視サービス  
これらをご利用の際は、回線工事をするか、新しく回線を用意するなど、新規にお申し込みが必要となる場合があります。また、ノーリングサービス（ガス・水道の検針等）や警備会社のホームセキュリティシステムをご利用の方は、サービスのご使用にあたって対応工事が必要になる場合があります。詳しくはそれぞれの事業者にお問い合わせください。
- 「オフトーク通信サービス」をご利用の場合は、オフトーク通信サービスを利用した放送等にノイズが入ることがあります。

## Trio モデム 3-G plus とパソコン、電話機を接続する

※ ADSL モデムやケーブルなどの形状は、実際と異なる場合もあります。



※ケーブルは同じ色のポートに差し込んでください。

### ① 機器の電源を切る

接続する機器（パソコン、トリオモデム 3-G plus、電話機）の電源をすべて切ってください。

### ② 電話機（または FAX 機）の取り外し

ご使用中の電話機（または FAX 機）を接続している電話線を、壁のモジュラージャックから取り外してください。

### ③ ADSL モデムとモジュラージャックの接続

同梱のモジュラーケーブル（黄色）を使用して、トリオモデム 3-G plus の [モジュラージャック] ポートと壁のモジュラージャックを接続します。

### ④ ADSL モデムと電話機（または FAX 機）の接続

同梱のモジュラーケーブル（緑色）を使用して、トリオモデム 3-G plus の [電話機] ポートと電話機（または FAX 機）を接続します。

※モジュラーケーブル（緑色）の代わりに電話機（または FAX 機）に接続されていた電話線をご利用いただいてもかまいません。

### ⑤ 電話機（または FAX 機）の電源を入れる

電話機（または FAX 機）の電源を入れます。



トリオモデム 3-G plus、電話機、パソコンなどの電源アダプタは、それぞれの機器に正しく接続してください。電気製品の電源アダプタは、機器によって定格電流や定格電圧、入力端子の＋極／－極の形態、位置などが異なり、ほかの製品のものに接続すると機器の誤動作や故障、発熱の原因となって、たいへん危険です。

### ⑥ ADSL モデムとパソコンの接続

同梱の LAN ケーブル（青色）を使用して、トリオモデム 3-G plus の [パソコン] ポートのいずれかとパソコンの LAN ポート（LAN アダプタまたは LAN カードの差込口）を接続します。

トリオモデム 3-G plus にパソコンや周辺機器を複数台接続する場合も、同様にトリオモデム 3-G plus の [パソコン 1] ～ [パソコン 4] ポートとパソコンの LAN ポートを LAN ケーブルで接続してください。

### ⑦ ADSL モデムの電源を入れる

同梱の電源アダプタを使用して、トリオモデム 3-G plus の [電源] ポートとコンセントを接続します。

### ⑧ パソコンの電源を入れる

トリオモデム 3-G plus の [リンク] ランプが点灯してから、パソコンの電源を入れてください。



## ■ トリオモデム 3-G plus のランプを確認する

トリオモデム 3-G plus の電源を入れると、すべてのランプが約 30 秒間点灯します。1～2 分後、図のように [電源]、[リンク]、[BB フォン] の各ランプが点灯すれば、回線は正常に機能しています。

■ …点灯    □ …消灯    ◻ …点滅

### [電源] ランプ

トリオモデム 3-G plus に電源が供給されているときに点灯します。点灯しない場合は、電源アダプタの接続を確認してください。

### [警告] ランプ

エラーが発生したときに点灯します。点灯したままになっている場合はトリオモデム 3-G plus の再起動を行う必要があります。

### [リンク] ランプ

ADSL に正常に接続されているときに点灯します。電話線が接続されていないか、電話局側から信号が届いていない場合は点灯しません。

### [パソコン1]～[パソコン4] ランプ

パソコンとトリオモデム 3-G plus が正常に接続されているときに、パソコンを接続しているポートに対応したランプが点滅または点灯します。パソコンの電源が入っていないときや、パソコンが接続されていない場合は点灯しません。

- ・緑色：100Mbps リンク時
- ・オレンジ：10Mbps リンク時

### [BB フォン] ランプ

BB フォンを使った通話が可能なときに点灯します。点滅または消灯しているときは BB フォンでの通話はできません。

### [無線 LAN] ランプ（無線 LAN サービスご利用時のみ使用）

モデム用無線 LAN カードがトリオモデム 3-G plus に装着され、無線 LAN での通信が可能になったときに点灯します。

### [セキュリティ] ランプ

[セキュリティ] ランプは、今回は使用しません。

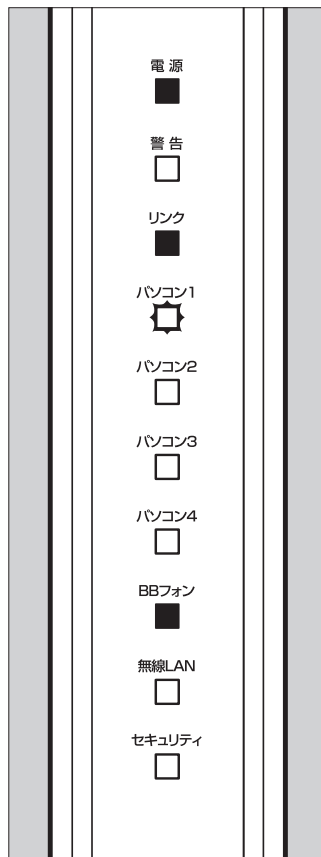
### [電話転送開始] ボタン

[電話転送開始] ボタンは、今回は使用しません。

- ※ [電話転送開始] ボタンは、この図には入っていません。実際には、ランプの下の方にあります。

### [リセット] ボタン

- ・ボタンを押す：再起動を行います。
- ・ボタンを 5 秒間押し続ける：設定の初期化を行います。
- ※ [リセット] ボタンは、この図には入っていません。実際には、ランプの下の方にあります。



### ヒント ランプが正常に点灯していない場合は

インターネットに接続できないなどのトラブルが発生する可能性があります。「トラブルシューティングガイド」を参照して、トラブルの原因を突き止めてください。

◆機器の接続を行い、各ランプが点灯して回線が正常に機能していることが確認できたら、「電話機の回線種別設定を行う（プッシュ/ダイヤル）」（☎ P16）の設定をしてください。

# 電話機の回線種別設定を行う(プッシュ/ダイヤル)

通信機器の接続が完了したら、必ずお使いの電話機(またはFAX機)で、回線種別設定を行ってください。回線種別設定が正しく行われていないと、次のような電話サービスをご利用いただけないことがあります。

- ・「110」「118」「119」などの緊急通報および一部の3桁番号
- ・「0120」や「0570」、「0800」、「0990」で始まるフリーダイヤルやナビダイヤル等
- ・相手先電話番号の前に「0000」(ゼロを4回)を付けたBBフォン以外の電話サービスでの通話

※BBフォン以外の電話サービスについての詳細は「BBフォンサービスご利用ガイド」でご確認ください。

## ヒント 回線種別について

NTTの回線種別(電話回線の種類)には、「プッシュ(トーン)回線」と「ダイヤル(パルス)回線」の2種類があります。ご利用の回線種別がどちらなのかは、NTTからの「ご利用明細」でご確認ください。

- ・「ご利用明細」に「プッシュ回線利用料」と記載されている場合 → **プッシュ回線**
- ・「ご利用明細」に何も記載がない場合 → **ダイヤル回線**

① NTTからの「ご利用明細」で、ご利用の加入電話の回線種別を確認します。

② 手順①で確認した回線種別に合わせて、電話機の回線種別設定<sup>(※注)</sup>を行います。

(※注)…回線種別の設定方法は、ご利用の電話機によって異なります。電話機に付属の取扱説明書をご確認いただくか、電話機メーカーまでお問い合わせください。

！ 電話機の機種によっては、「自動」や「AUTO」など、自動的に回線種別を調べて設定する機能を持つものもありますが、こうした機種をご利用の場合も、必ず手で回線種別を設定してください(お使用の環境によっては、自動設定の機能では回線種別が正しく設定できない場合もあります)。

③ 回線種別設定が完了したかご確認ください。

電話がかかり、音声が正しく聴こえれば、電話サービスは間違いなくご利用いただけます。

※通話料はお客様負担となります。あらかじめご了承ください。

※たとえば、「177」などに電話をかけていただき、アナウンスが正しく聴こえるかお試しください。

## ヒント 音声が正しく聴こえない場合

上記の設定を行っても音声が正しく聴こえない場合は、電話サービスがご利用いただけていません。こうした場合は、手順②の電話機の回線種別設定が間違っていることがまず考えられます。再度、電話機の回線種別設定をご確認ください。

手順②で回線種別が正しく設定されているにも関わらず、電話サービスがご利用いただけない場合は、電話機で次のような設定を行っている可能性が考えられます。

- ・ACR(LCR)機能を利用している
- ・電話機の解除番号が影響している
- ・短縮ダイヤルを利用している

これらの原因の対処方法については、「トラブルシューティングガイド」(ADSLサービスよくある質問)をご覧ください。

！ 回線種別設定の操作は、電話機の電源を入れ直した場合や停電の発生後にも、必ず行ってください。

# ネットワークの設定をする

通信機器の接続が終わったら、パソコンでネットワークの設定を行います。  
あらかじめパソコンに LAN アダプタ（または LAN カード）が装着されていて、利用可能な状態になっていることを確認してください。

## ヒント セキュリティについて

ADSL 回線でインターネットに常時接続をするようになると、外部ネットワークから不正にアクセスされパソコンが操作されてしまうなどの可能性が高くなります。ファイルやフォルダをのぞかれないようにするためには、(1) パソコンのネットワークの設定でファイルやフォルダの「共有」を禁止したり、(2) ファイヤーウォール機能のあるウイルスチェックソフトを導入したり、(3) ブロードバンドルータを利用したりすることをお勧めいたします。

ご利用のパソコンの OS に応じて、設定を行ってください。

- ・ Windows XP の場合 ..... P18
- ・ Windows Me / 98 の場合 ..... P24
- ・ Windows 2000 の場合 ..... P29
- ・ Mac OS 9.1 以降の場合 ..... P32
- ・ Mac OS X の場合 ..... P34

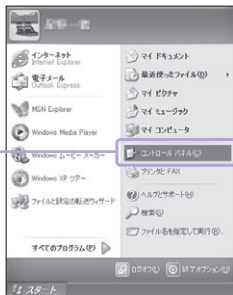
# ネットワークの設定をする (Windows XP)

## ネットワークの設定をする

パソコンでネットワークの設定を行います。

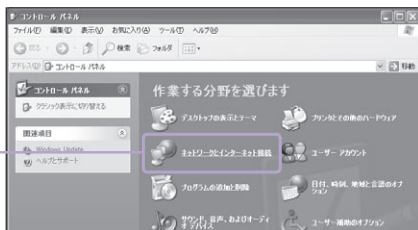
- ① [スタート]メニューの[コントロールパネル]をクリックします。

ここをクリック



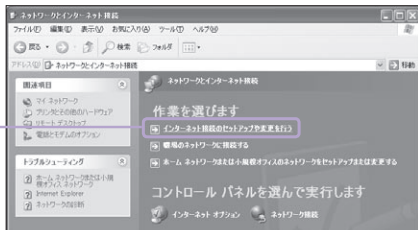
- ② [ネットワークとインターネット接続]をクリックします。

ここをクリック



- ③ [インターネット接続のセットアップや変更を行う]をクリックします。

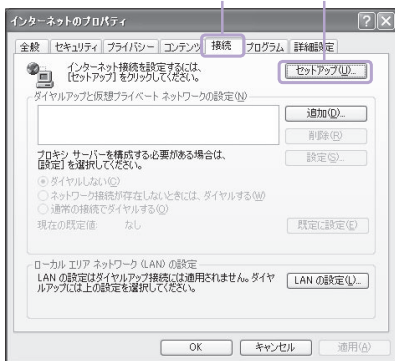
ここをクリック



[インターネットのプロパティ] 画面が表示されます。

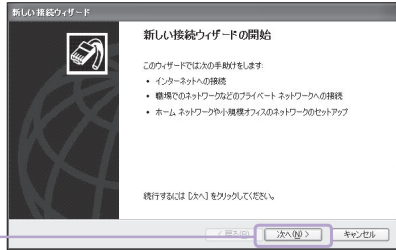
- ④ [接続] タブをクリックし、[セットアップ] をクリックします。

ここをクリック ここをクリック



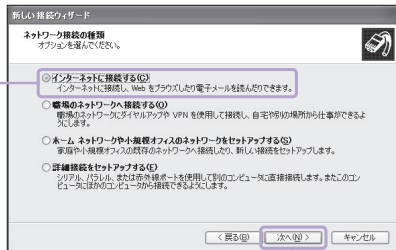
[新しい接続ウィザード] が起動します。

⑤ [次へ] をクリックします。



ここをクリック

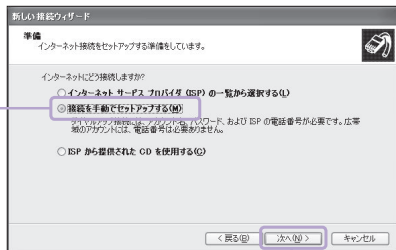
⑥ [インターネットに接続する] を選択し、[次へ] をクリックします。



ここをクリック

ここをクリック

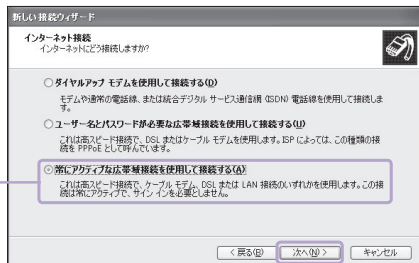
⑦ [接続を手動でセットアップする] を選択し、[次へ] をクリックします。



ここをクリック

ここをクリック

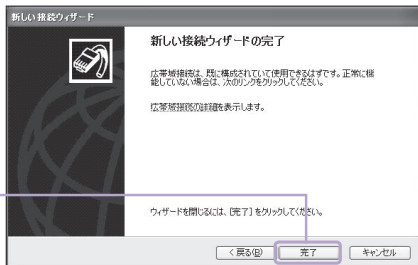
⑧ [常にアクティブな広帯域接続を使用して接続する] をクリックします。



ここをクリック

ここをクリック

- ⑨ [完了] をクリックします。



[新しい接続ウィザード] が終了します。

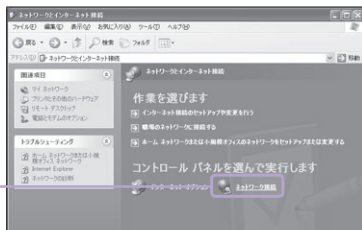
## ネットワークの設定を確認する (1)

ネットワークの設定が正しく行われているかどうか、確認しておきましょう。

- ① [スタート] メニューの [コントロールパネル] をクリックします。

- ② [ネットワークとインターネット接続] をクリックします。

- ③ [ネットワーク接続] をクリックします。



- ④ [ローカルエリア接続] アイコンをダブルクリックします。

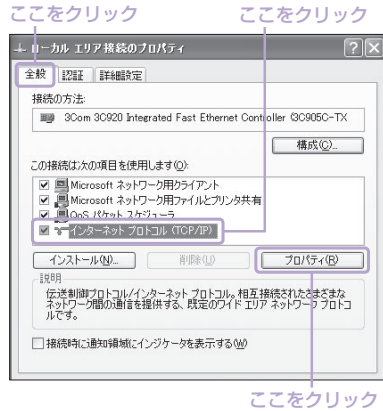
! お使いのパソコンによって表示が多少異なります。



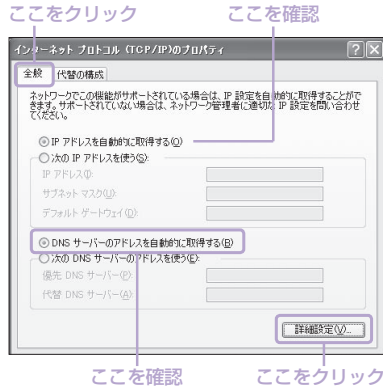
- ⑤ [プロパティ] をクリックします。



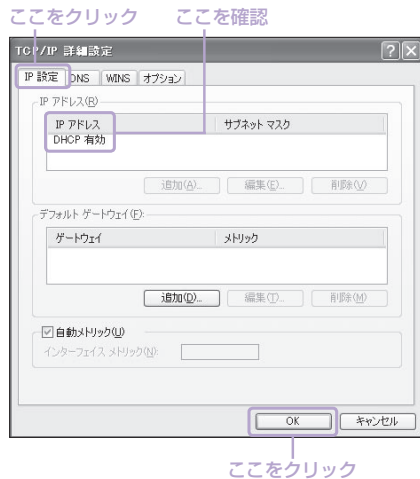
- ⑥ [全般] タブをクリックします。  
[インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックします。



- ⑦ [全般] タブをクリックします。[IP アドレスを自動的に取得する] と [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する] が選択されていることを確認し、[詳細設定] をクリックします。



- ⑧ [IP 設定] タブをクリックします。  
[DHCP 有効] となっていることを確認し、[OK] をクリックします。



[ローカルエリア接続のプロパティ] 画面が表示されます。

ここをクリック



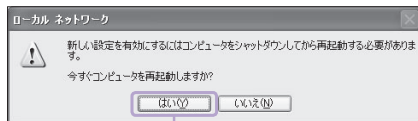
9 [閉じる] をクリックします。



ここをクリック

10 再起動を求める画面が表示されたら [はい] をクリックします。

パソコンが再起動します。



ここをクリック

## ネットワークの設定を確認する (2)

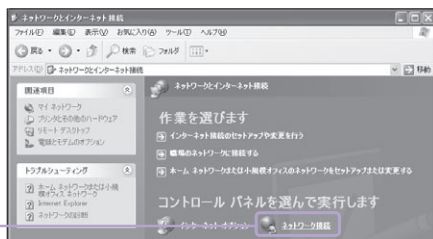
次に、IP アドレスとデフォルトゲートウェイが正しく設定されているかどうか確認します。

① [スタート] メニューの [コントロールパネル] をクリックします。

② [ネットワークとインターネット接続] をクリックします。

③ [ネットワーク接続] をクリックします。

ここをクリック



④ [ローカルエリア接続] アイコンをダブルクリックします。

! お使いのパソコンによって表示が多少異なります。

ここをダブルクリック

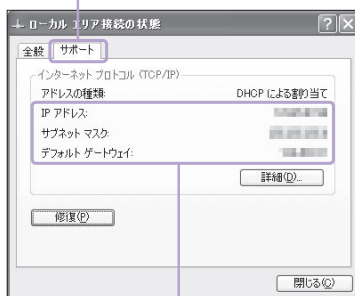


⑤ [サポート] タブをクリックします。  
IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの各種情報が表示されます。

! IP アドレスが以下のように始まっていれば正常です。NAT 機能については、「IP アドレス / DHCP サーバの設定」( P52 ) を参照してください。

- NAT 機能が有効の場合  
「192.168.3…」
- NAT 機能が無効の場合  
「218…」 「219…」 「220…」 「221…」 などのグローバル IP アドレス

ここをクリック



ここを確認

! IP アドレスが正しく取得できない場合は、[修復] をクリックします。  
修復が完了したら、[OK] をクリックします。



ここをクリック

◆これでインターネットに接続できるようになりました。  
「ブラウザでホームページを見る」( P38 ) へお進みください。

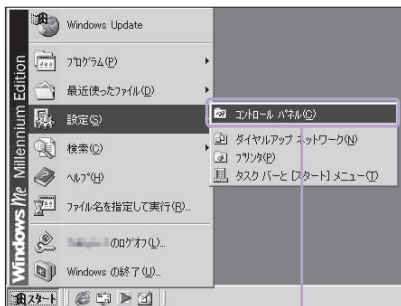
# ネットワークの設定をする (Windows Me / 98)

## ネットワークの設定をする

パソコンでネットワークの設定を行います。

- 1 [スタート] メニューの [設定] - [コントロールパネル] をクリックします。

! お使いのパソコンによって表示が多少異なります。



ここをクリック

- 2 [ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。

ここをクリック



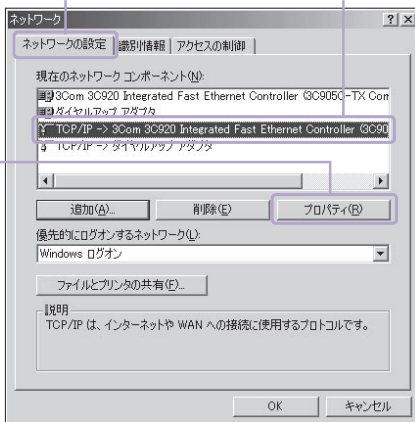
[ネットワーク] 画面が表示されます。

- 3 [ネットワークの設定] タブをクリックし、[TCP/IP] または [TCP/IP->< LAN カードの名前>] を選択し、[プロパティ] をクリックします。

ここをクリック

ここをクリック

ここをクリック

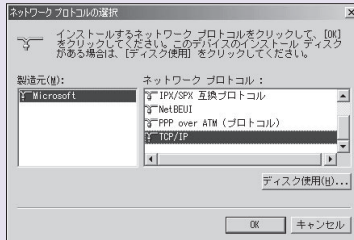
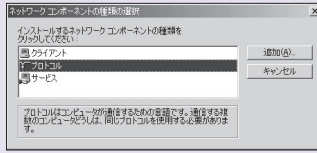


[TCP/IPのプロパティ] 画面が表示されます。

## ヒント 「TCP/IP」または「TCP/IP-> <LAN カードの名前>」という項目がない場合は

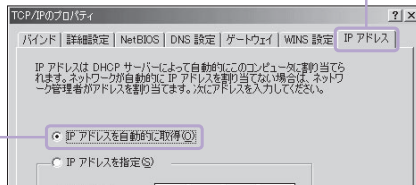
次の手順で、プロトコルに TCP/IP を追加してください。

- ① P24 の手順③の画面で [追加] をクリックする。
- ② [ネットワークコンポーネントの選択] 画面で [プロトコル] を選択して [追加] をクリックする。
- ③ [ネットワークプロトコルの選択] 画面で [製造元] は [Microsoft]、[ネットワークプロトコル] は [TCP/IP] を選んで [OK] をクリックする。



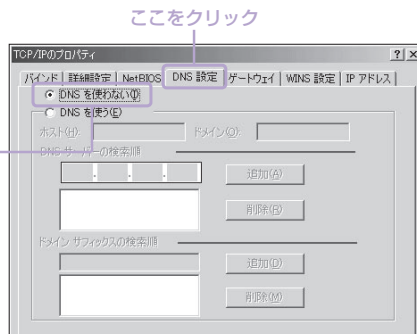
- ④ [IP アドレス] タブをクリックし、[IP アドレスを自動的に取得] を選択します。

ここをクリック



- ⑤ [DNS 設定] タブをクリックし、[DNS を使わない] を選択します。

ここをクリック



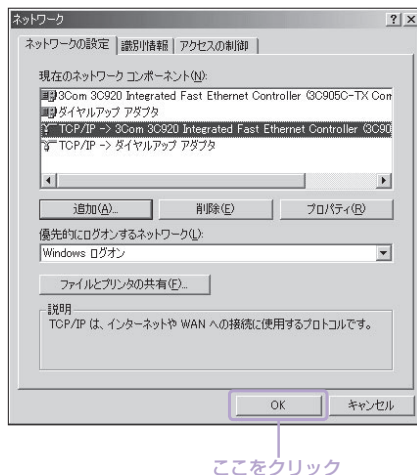
- ⑥ [ゲートウェイ] タブをクリックします。[インストールされているゲートウェイ] に何も登録されていないことを確認し、[OK] をクリックします。

[ネットワーク] 画面に戻ります。

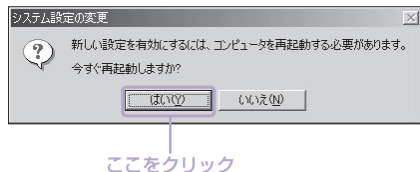


- ⑦ [OK] をクリックします。

! このとき、お使いのパソコンの環境によっては Windows の CD-ROM をセットするよう  
に要求する画面が表示されることがあります。その場合は、画面の指示に従ってください。



- ⑧ 再起動を求める画面が表示されたら [はい] をクリックします。  
パソコンが再起動します。  
これでネットワークの設定は完了です。



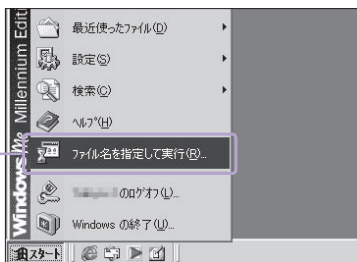
## ネットワークの設定を確認する

ネットワークの設定が正しく行われているかどうか、確認しておきましょう。

- ① [スタート] メニューの [ファイル名を指定して実行] をクリックします。

ここをクリック

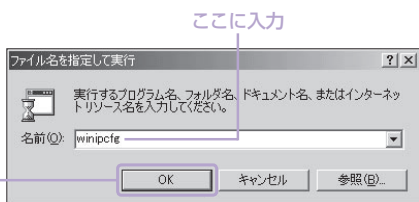
[ファイル名を指定して実行] 画面が表示されます。



- ② 「winipcfg」と入力し、[OK] をクリックします。

ここをクリック

[IP 設定] 画面が表示されます。



- ③ [Ethernet アダプタ情報] が [PPP Adapter] と表示されている場合は、お使いの LAN アダプタ (LAN カード) を選択して、IP アドレスが取得できているかどうかを確認します。

ここを選択

! IP アドレスが以下のように始まっている場合は正常です。NAT 機能については、「IP アドレス / DHCP サーバの設定」(P52) を参照してください。

● NAT 機能が有効の場合

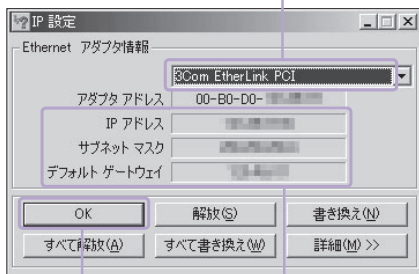
「192.168.3...」

● NAT 機能が無効の場合

「218...」 「219...」 「220...」 「221...」

...」などのグローバル IP アドレス

[OK] をクリックします。



! IP アドレスが「0.0.0.0」となっていたり、デフォルトゲートウェイが空欄になっている場合は、[解放] をクリックして、次に [書き換え] をクリックしてください。この操作で [IP アドレス] と [デフォルトゲートウェイ] に数字が表示されれば正常です。

◆これでインターネットに接続できるようになりました。  
「ブラウザでホームページを見る」(P38) へお進みください。

**ヒント** 【PPP Adapter】しか表示されない場合

【IP 設定】画面のプルダウンメニューに【PPP Adapter】だけが表示され、ご使用のネットワークアダプタの項目がない場合は、「TCP/IP」がインストールされていない、もしくは正常に動作していない可能性があります。

このような場合は、次の手順で TCP/IP を再インストールしてください（この作業を行う際に、Windows の CD-ROM が必要になる場合があります）。

- ①【スタート】メニューから【設定】→【コントロールパネル】→【ネットワーク】を開く。
- ②【ネットワークの設定】タブの【現在のネットワークコンポーネント】の一覧で、【TCP/IP ->（ご使用のネットワークカードの名前）】を選択し、【削除】をクリックする。

※一覧に「TCP/IP」から始まる項目がない場合は、次に進んでください。一覧に「TCP/IP」から始まる項目が複数表示されている場合は、「TCP/IP」から始まるすべての項目を同様に削除してください。

- ③【追加】をクリックし、【ネットワークコンポーネントの選択】ダイアログを表示させる。
- ④一覧から【プロトコル】を選択して【追加】をクリックし、【ネットワークコンポーネントの選択】画面を表示させる。
- ⑤【製造元】は【Microsoft】、【ネットワークプロトコル】は【TCP/IP】を選択し、【OK】をクリックする。
- ⑥【閉じる】ボタンをクリックして【ネットワークコンポーネントの選択】画面を閉じる。
- ⑦【現在のネットワークコンポーネント】の一覧に、【TCP/IP -><ご使用のネットワークカードの名前>】が追加されたことを確認し、【OK】をクリックする。

※【OK】をクリックすると、パソコンの再起動を求められます。ほかのアプリケーションを終了したあと、パソコンを再起動してください。ここで Windows の CD-ROM を求められる場合もあります。

パソコンが再起動したら、【IP 設定】画面にご使用のネットワークアダプタが表示されていることを確認してください。

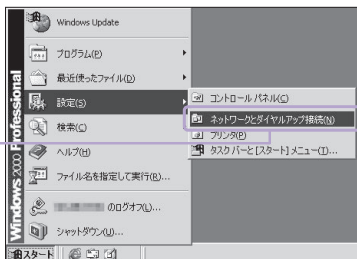
# ネットワークの設定をする (Windows 2000)

## ネットワークの設定をする

パソコンでネットワークの設定を行います。

- ① [スタート] メニューの [設定] - [ネットワークとダイヤルアップ接続] をクリックします。

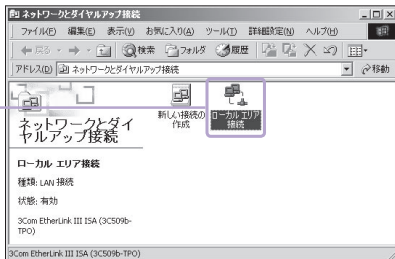
ここをクリック



- ② [ローカルエリア接続] アイコンをダブルクリックします。

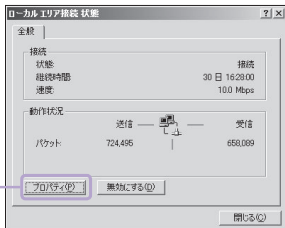
ここをダブルクリック

[ローカルエリア接続状態] 画面が表示されます。



- ③ [プロパティ] をクリックします。

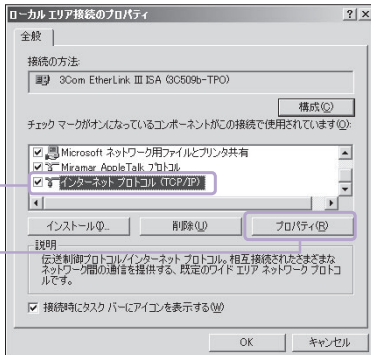
ここをクリック



- ④ [インターネットプロトコル(TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックします。

ここをクリック

ここをクリック



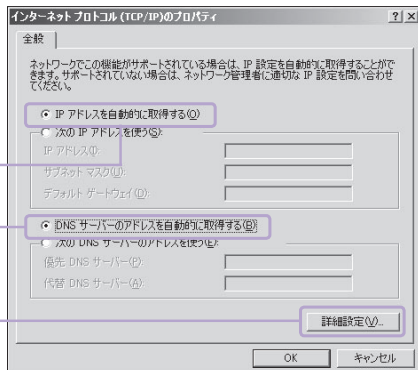


- ⑤ [IPアドレスを自動的に取得する] と [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択し、[詳細設定] をクリックします。

ここをクリック

ここをクリック

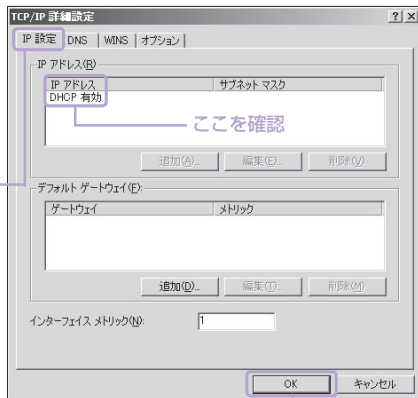
ここをクリック



- ⑥ [IP 設定] タブをクリックし、[IP アドレス] の一覧に [DHCP 有効] の文字があることを確認し、[OK] をクリックします。

ここをクリック

[インターネットプロトコル (TCP/IP)のプロパティ] 画面に戻ります。

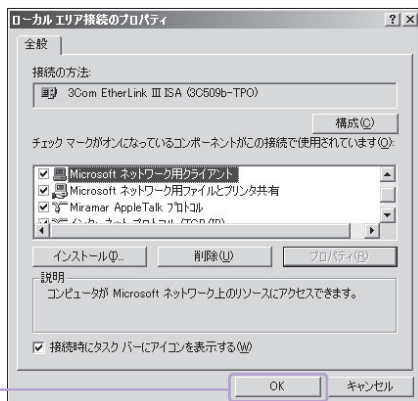


ここをクリック

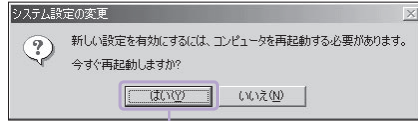
- ⑦ [OK] をクリックします。  
[ローカルエリア接続のプロパティ] 画面が表示されます。

- ⑧ [OK] をクリックします。

ここをクリック



- ⑨ 再起動を求める画面が表示されたら [はい] をクリックします。  
パソコンが再起動します。  
これでネットワークの設定は完了です。

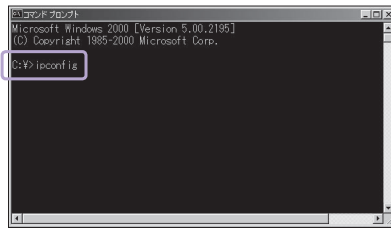


ここをクリック

## ネットワークの設定を確認する

ネットワークの設定が正しく行われているかどうか、確認しておきましょう。

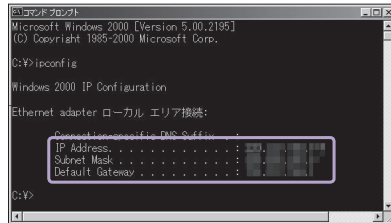
- ① [スタート] メニューの [プログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックします。  
[コマンドプロンプト] 画面が表示されます。  
キーボードから「ipconfig」と入力し、[Enter] キーを押します。



- ② IP Address、Subnet Mask、Default Gateway の各情報が表示されます。

! IP アドレスが以下のように始まっている場合は正常です。NAT 機能については、「IP アドレス/DHCP サーバの設定」(P52) を参照してください。

- NAT 機能が有効の場合  
「192.168.3…」
- NAT 機能が無効の場合  
「218…」 「219…」 「220…」 「221…」 などのグローバル IP アドレス



- ! IP Address と Default Gateway が正しく設定されていない場合は、「ipconfig /renew」と入力し、[Enter] キーを押します (「ipconfig」と「/」の間には、半角スペースを入れてください)。IP Address、Subnet Mask、Default Gateway の各情報が表示されます。



◆これでインターネットに接続できるようになりました。  
「ブラウザでホームページを見る」(P38) へお進みください。

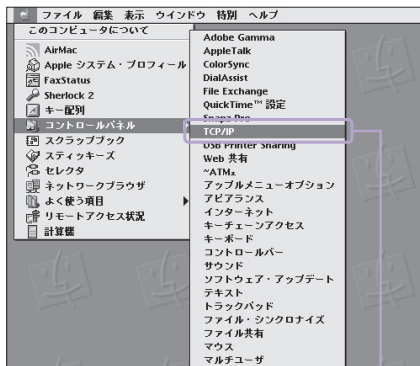
# ネットワークの設定をする (Mac OS 9.1 以降)

## ネットワークの設定をする

パソコンでネットワークの設定を行います。

- ① [アップル] メニューの [コントロールパネル] - [TCP/IP] を選択します。

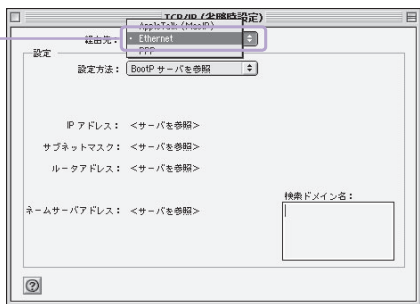
! [アップルメニューオプション] で [サブメニュー] の機能をオフにしている場合は、アップルメニューの [コントロールパネル] を選択し、コントロールパネルのウィンドウが表示されたから [TCP/IP] をダブルクリックします。



[TCP/IP] 画面が表示されます。

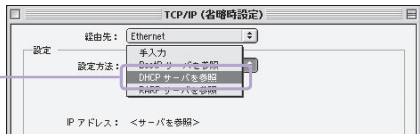
ここを選択

- ② [経由先] で [Ethernet] を選択します。



ここを選択

- ③ [設定方法] で [DHCP サーバを参照] を選択します。



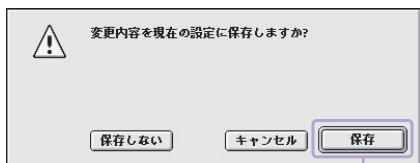
ここを選択

- ④ [TCP/IP] 画面を閉じます。

[変更内容を現在の設定に保存しますか?] というメッセージが表示されます。

[保存] を選択します。

これでネットワークの設定は完了です。



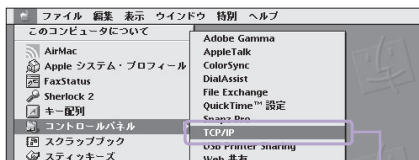
ここを選択

## ネットワークの設定を確認する

ネットワークの設定が正しく行われているかどうか、確認しておきましょう。

- 1 [アップル]メニューの[コントロールパネル] - [TCP/IP] を選択します。

[TCP/IP] 画面が表示されます。



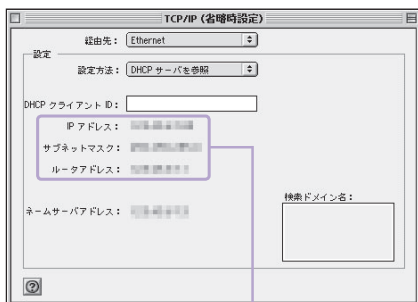
ここを選択

- 2 ネットワークの設定がきちんとされていることを確認します。

確認する箇所は次のとおりです。

- IP アドレス
- サブネットマスク
- ルータアドレス

これらのアドレスはすべて自動で設定されます。



ここを確認



IP アドレスが以下のように始まっていれば正常です。NAT 機能については、「IP アドレス / DHCP サーバの設定」(P52)を参照してください。

- NAT 機能が有効の場合

「192.168.3…」

- NAT 機能が無効の場合

「218…」 「219…」 「220…」 「221…」 などのグローバル IP アドレス

- 3 ネットワークの設定を確認したら、[TCP/IP] 画面を閉じます。



このとき、「変更内容を現在の設定に保存しますか?」というメッセージが表示されたら「保存しない」をクリックします。

◆これでインターネットに接続できるようになりました。

「ブラウザでホームページを見る」(P38)へお進みください。

# ネットワークの設定をする (Mac OS X)

## ネットワークの設定をする

パソコンでネットワークの設定を行います。

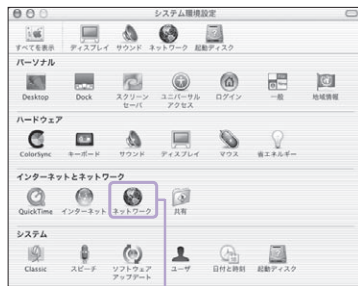
- ① Dock上の [System Preferences] アイコンをクリックします。

[システム環境設定] 画面が表示されます。



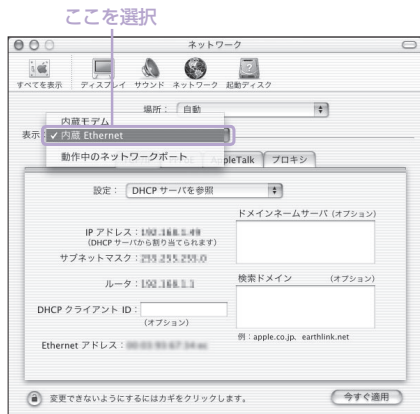
! Mac OS X の初期設定では、Dock に [システム環境設定] のアイコンが登録されています。Dock から削除してしまった場合は、[アップル] メニューの [システム環境設定] を選択します。

- ② [ネットワーク] アイコンをクリックします。



ここをクリック

- ③ [表示]の一覧から [内蔵 Ethernet] を選択します。



- ④ [TCP/IP] タブをクリックし、TCP/IP の設定画面で次のように設定します。

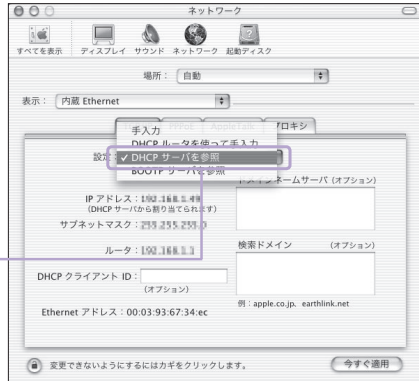
[設定] : [DHCP サーバを参照]

[DHCP クライアント ID] : 空白

[ドメインネームサーバ] : 空白

[検索ドメイン] : 空白

ここを確認



- ⑤ [PPPoE] タブをクリックし、[PPPoE を使って接続する] にチェックがついている場合はチェックを外します。

**!** ADSL モデムは、PPPoE を使用しません。

ここをクリック

ここを確認



- ⑥ [AppleTalk] タブをクリックし、[AppleTalk 使用] にチェックがついている場合は、チェックを外します。

ここをクリック

ここを確認



- ⑦ [プロキシ] タブをクリックし、[FTP プロキシ]、[Web プロキシ (HTTP)]、[Secure Web プロキシ (RTSP)]、[ストリーミングプロキシ (RTSP)]、[Gopher プロキシ]、[SOCKS ファイアウォール] にチェックがついている場合は、すべてのチェックを外します。

設定を変更した場合は、[今すぐ適用] をクリックします。

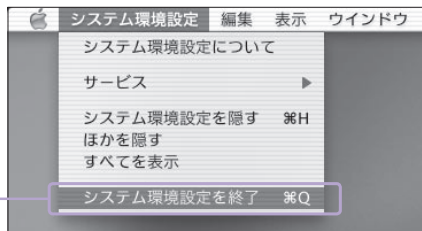
❗ [今すぐ適用] をクリックしないでほかの設定を行おうとすると、[設定の変更点を保存しますか?] というメッセージが表示されるので、[保存する] をクリックします。



ここを確認

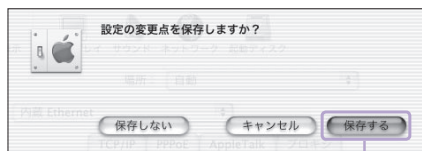
ここをクリック

- ⑧ [システム環境設定] メニューの [システム環境設定を終了] を選択します。



ここをクリック

- ⑨ [設定の変更点を保存しますか?] というメッセージが表示されたら [保存する] をクリックします。これでネットワークの設定は完了です。



ここをクリック

## ネットワークの設定を確認する

ネットワークの設定が正しく行われているかどうか、確認しておきましょう。

- ① Dock上の [System Preferences] アイコンをクリックします。

[システム環境設定] 画面が表示されます。

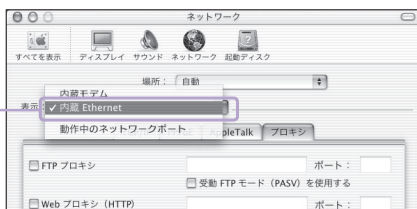
[ネットワーク] アイコンをクリックします。

ここをクリック



- ② [表示] の一覧から [内蔵 Ethernet] を選択します。

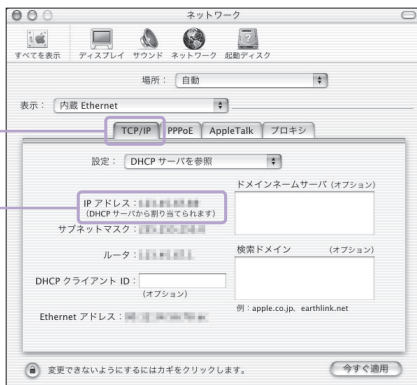
ここを選択



- ③ [TCP/IP] タブをクリックし、IP アドレスが割り当てられていることを確認します。

ここを選択

ここを選択



IP アドレスが以下のように始まっていれば正常です。NAT 機能については、「IP アドレス / DHCP サーバの設定」(P52) を参照してください。

● NAT 機能が有効の場合

「192.168.3...」

● NAT 機能が無効の場合

「218...」「219...」「220...」「221...

...」などのグローバル IP アドレス

- ④ [システム環境設定] メニューの [システム環境設定を終了] を選択します。

◆これでインターネットに接続できるようになりました。  
「ブラウザでホームページを見る」(P38) へお進みください。



# ブラウザでホームページを見る

パソコンの設定が終わったら、インターネットに接続できているかどうか確認してみましょう。ブラウザを起動して、インターネットのホームページが表示されたら、ADSL接続サービスは正常に動作しています。

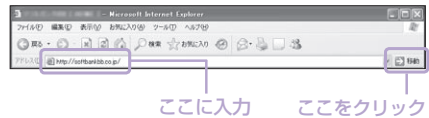
ここでは、Internet Explorer 6.x で確認する手順を紹介します。

(※本冊子に掲載のウェブ画面は、実際とは異なる場合もあります)

- ① [スタート]メニューの [Internet Explorer] をクリックします。または、デスクトップの [Internet Explorer] アイコンをダブルクリックします。

※ Mac OS の場合は、デスクトップの [WWW ブラウザ] アイコンをダブルクリックします。  
Internet Explorer が起動します。

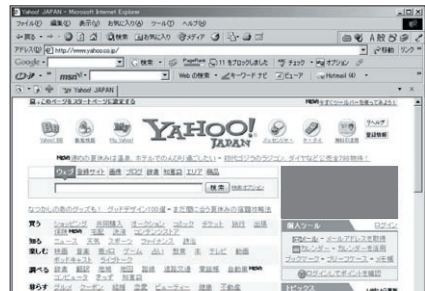
- ② アドレスバーに「http://www.yahoo.co.jp/」と入力し、[移動] をクリックします。



- ③ ホームページが表示されることを確認します。

※このホームページを表示するためには、動画アニメーション再生ソフト「Flash Player」が必要となる場合があります。インストール画面が表示された場合には指示に従い、インストールを実行してください。

ホームページが表示されたら、接続はOKです。ネットサーフィンをお楽しみください。



### ヒント Internet Explorer を初めて起動したときは

インターネット接続ウィザードが表示されることがあります。このウィザードは、ダイヤルアップ接続の接続先を設定するためのものです。ここでは「キャンセル」をクリックして、ウィザードを終了してください。

インターネット接続ウィザードでメールの設定を行う方法については、「Outlook Express の設定をする」を参照してください。

! Internet Explorer の詳しい設定については、オンラインヘルプまたは市販の解説書などを参考にしてください。

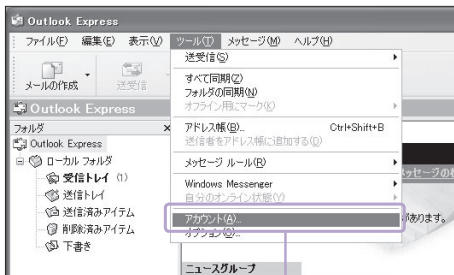
◆インターネットに接続できない場合は、「トラブルシューティングガイド」の「インターネットに接続できない!」をご覧ください。

# Outlook Express の設定をする (Windows)

Windows で Outlook Express をご利用になる方は、次の手順で設定を行ってください。ここでは、Outlook Express 6.x で設定する手順を紹介します。

メールアドレスやアカウント、パスワードなどの情報は、ご利用のプロバイダより通知されたものを設定してください。

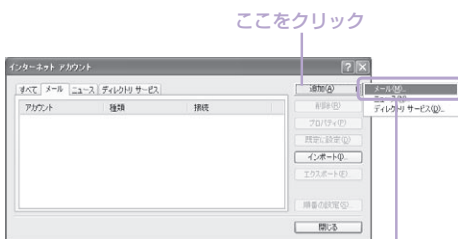
- ① [ツール] メニューの [アカウント] をクリックします。



[インターネットアカウント] 画面が表示されます。

ここをクリック

- ② [追加] をクリックし、一覧から [メール] をクリックします。



[インターネット接続ウィザード] が起動します。

ここをクリック

- ③ 自分の名前を入力し、[次へ] をクリックします。

ここで入力した名前が送信メールに表示されます。



ここに入力

ここをクリック

- ④ メールアドレスを入力し、[次へ]をクリックします。



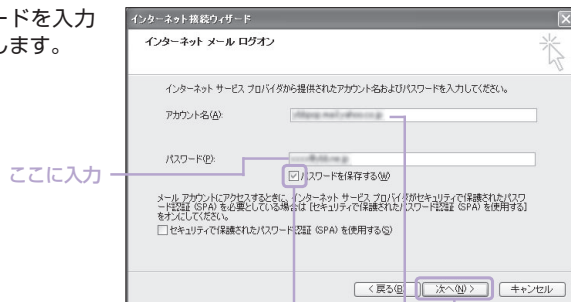
ここに入力      ここをクリック

- ⑤ 受信メールサーバー、送信メールサーバーを入力し、[次へ]をクリックします。



ここに入力      ここに入力

- ⑥ アカウント名、パスワードを入力し、[次へ]をクリックします。



ここをクリック      ここに入力      ここをクリック

## ヒント パスワードを保存する

お一人だけでパソコンを使う場合など、他人にメールを読まれる心配がないときは、[パスワードを保存する] をチェックしてもかまいません。ただし、ほかの方とパソコンを共有していてメールを読まれたくない場合はチェックを外してください。

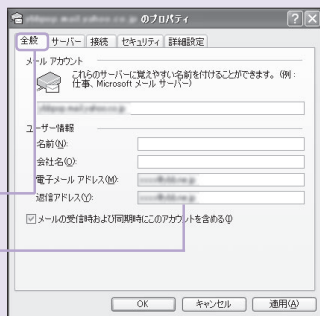
- ⑦ [完了] をクリックします。  
[インターネットアカウント] 画面に戻ります。

- ⑧ [メール] タブをクリックします。  
先ほど設定したアカウントを選択し、[プロパティ] をクリックします。  
[プロパティ] 画面が表示されます。

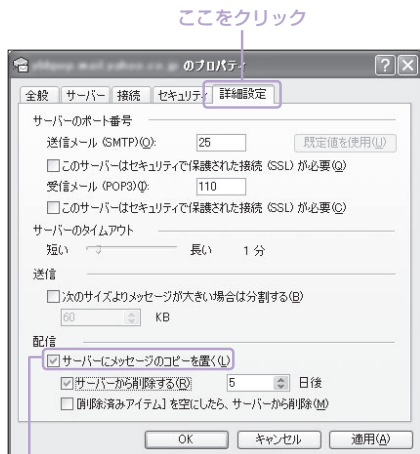


- ヒント** [返信アドレス] の設定  
設定したアカウント以外のメールアドレスで返信を受け取りたい場合には、[全般] タブをクリックし、[返信アドレス] に入力します。通常は、空欄のままかまいません。

ここをクリック  
ここに入力



- ⑨ [詳細設定] タブをクリックします。  
[サーバーにメッセージのコピーを置く] チェックします。  
[サーバーから削除する] 必要に応じて設定します。



ここをチェック

### ユーザー認証の設定

プロバイダによっては、迷惑メールの送信や第三者の中継による悪質ないたずらなどを防ぐために、メール受信の操作でユーザー認証（ユーザーが本人であることの確認）を行っている場合もあります。そうしたサービスをお使いの場合には、先にメール受信を行わないとメールの送信はできません。しかし、Outlook Express は SMTP-AUTH 機能<sup>※</sup>に対応しているため、簡単な設定（次の⑩～⑫の操作）を行うだけで、順番を意識することなく送受信の操作を行うことができます。

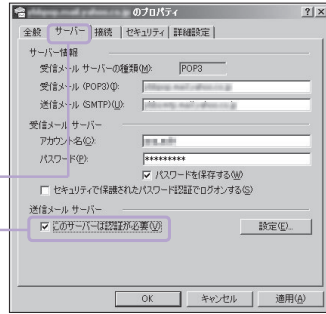
※ SMTP-AUTH：メール送信時にユーザー認証することにより、メールの送信許可を行う方法

- ⑩ [サーバー] タブをクリックし、  
[送信メールサーバー] の [このサーバーは認証が必要] を  
チェックします。

※市販のウイルス対策ソフトをインストール済みのお客様は、さらに詳細な設定（ここでは⑩～⑫の操作）が必要となる場合があります。

ここをクリック

ここをチェック



- ⑪ [設定] をクリックします。

! [設定] は、⑩で [このサーバーは認証が必要] をチェックしないと、クリックできません。

- ⑫ [送信メールサーバー] 画面を設定します。  
[次のアカウントとパスワードでログインする]: チェックします。

ここを入力

! この欄をチェックしないと、次の [アカウント] と [パスワード] は入力できません。

ここをチェック

[アカウント]

メールのアカウントを入力します。

[パスワード]

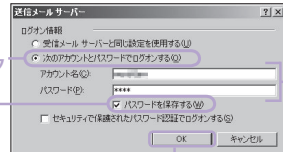
メールのパスワードを入力します。

[パスワードを保存する]

チェックします。

入力し終わったら、[OK] をクリックします。

[プロパティ] 画面に戻ります。



ここをチェック

ここをクリック

※市販のウイルス対策ソフトをお使いのお客様で、⑩～⑫の設定を行っても SMTP-AUTH がうまく機能しない場合（先にメール受信をしないとメールが送信できないなど）は、お使いのウイルス対策ソフトメーカーにお問い合わせください。

- ⑬ [接続] タブをクリックします。

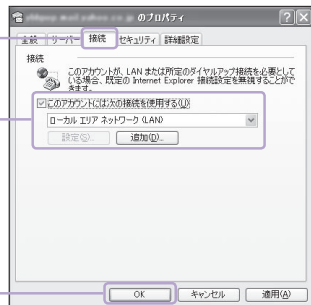
ここをクリック

[このアカウントには次の接続を使用する] で、[ローカルエリアネットワーク (LAN)] になっていることを確認し、[OK] をクリックします。

ここを確認

[インターネットアカウント] 画面に戻ります。

ここをクリック



- ⑭ [閉じる] をクリックします。  
これでメールの設定は完了です。

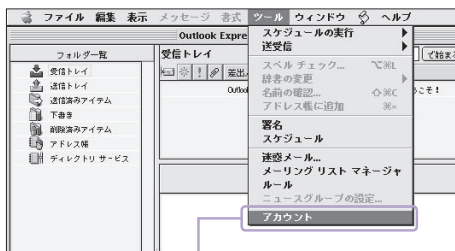
◆メールの送受信がうまくいかない場合は、「トラブルシューティングガイド」の「ADSL サービス よくある質問」をご覧ください。

# Outlook Express の設定をする (Mac OS 9.1 以降)

Mac OS 9.1 以降で Outlook Express をご利用になる方は、次の手順で設定を行ってください。ここでは、Outlook Express 5 でメールを使うための設定手順を紹介します。

メールアドレスやアカウント、パスワードなどの情報は、ご利用のプロバイダより通知されたものを設定してください。

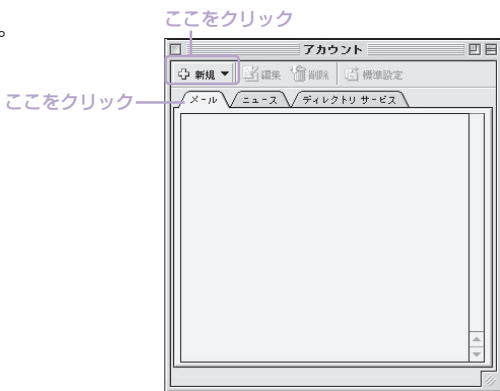
- ① [ツール] メニューの [アカウント] をクリックします。



[アカウント] 画面が表示されます。

ここをクリック

- ② [メール] タブをクリックします。  
[新規] をクリックします。



[新規アカウント] 画面が表示されます。

- ③ [種類] が [POP] になっていることを確認し、[OK] をクリックします。



④ 次のように設定します。

- (A) [アカウント名]  
わかりやすい名前を付けます。
- (B) [名前]  
送信したメールに表示される名前を入力します。  
[メールアドレス]  
メールアドレスを入力します。
- (C) [アカウント ID]  
メールのアカウントを入力します。  
[POP サーバー]  
プロバイダから通知されたものを入力します。  
[パスワードの保存]  
パスワードを入力します。
- (D) [SMTP サーバー]  
プロバイダから通知されたものを入力します。

ここをクリック

**ヒント**

**パスワードを保存する**

お一人だけでパソコンを使う場合など、他人にメールを読まれる心配がないときは、「パスワードの保存」をチェックしてもかまいません。ただし、ほかの人とパソコンを共用していてメールを読まれたくない場合はチェックを外してください。

## ユーザー認証の設定

プロバイダによっては、迷惑メールの送信や第三者の中継による悪質ないたずらなどを防ぐために、メール受信の操作でユーザー認証（ユーザーが本人であることの確認）を行っている場合もあります。そうしたサービスをお使いの場合には、先にメール受信を行わないとメールの送信はできません。

しかし、Outlook Express は SMTP-AUTH 機能<sup>®</sup>に対応しているため、簡単な設定（次の⑤～⑧の操作）を行うだけで、順番を意識することなく送受信の操作を行うことができます。

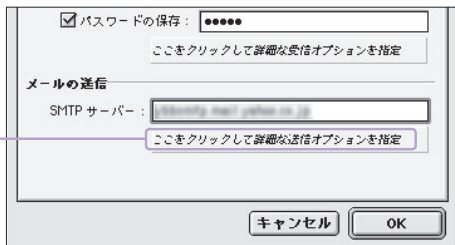
※ SMTP-AUTH：メール送信時にユーザー認証することにより、メールの送信許可を行う方法



- ⑤ SMTP-AUTH 機能を有効にする場合は、④の画面で「メールの送信」の「ここをクリックして詳細な送信オプションを指定」をクリックします。

ここをクリック

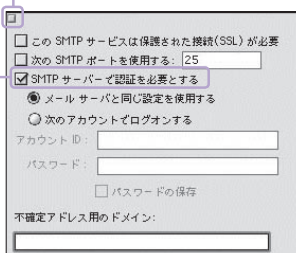
※ SMTP-AUTH 機能を利用しない場合は、⑦へ進んでください。



- ⑥ 表示された画面で「SMTP サーバーで認証を必要とする」にチェックをつけ、左上の□をクリックします。

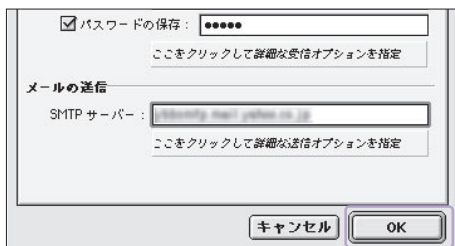
ここをチェック

ここをクリック



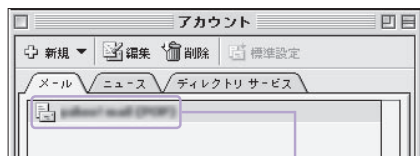
- ⑦ 「アカウントの編集」画面で「OK」をクリックします。

ここをクリック



- ⑧ 「アカウント」の画面で、設定したアカウントが表示されていることを確認します。

ここを確認



これでメールの設定は完了です。

◆メールの送受信がうまくいかない場合は、「トラブルシューティングガイド」の「ADSL サービス よくある質問」をご覧ください。

# Mail の設定をする (Mac OS X)

Mac OS X で Mail をご利用になる方は、次の手順で設定を行ってください。  
ここでは、Mac OS X に用意されているメールソフト、Mail 1. x でメールを使うための設定手順を紹介します。

メールアドレスやアカウント、パスワードなどの情報は、ご利用のプロバイダより通知されたものを設定してください。

- ① Dock 上の [Mail] アイコンをクリックします。

Mail が起動し、[Mail 設定画面] が表示されます。



ここをクリック

！すでに別のメールアカウントでの送受信が設定されている場合は、[Mail 環境設定] 画面 (Mac OS X 10.2 以上の場合は [アカウント] 画面) が表示されます (④へ)。

- ② 次のように設定します。

[氏名]

送信したメールに表示される名前を入力します。

[メールアドレス]

メールアドレスを入力します。

[受信用メールサーバ]

プロバイダから通知されたものを入力します。

[メールサーバの種類]

[POP] を選択します。

[ユーザアカウント ID]

アカウントを入力します。

[パスワード]

パスワードを入力します。

[送信用 (SMTP) メールサーバ]

プロバイダから通知されたものを入力します。

[OK] をクリックします。

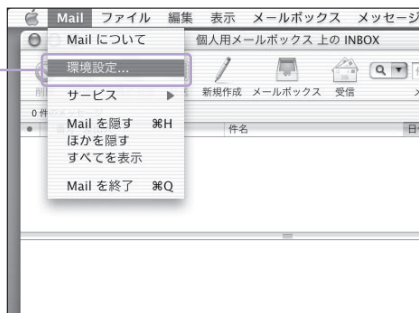
[個人メールボックス上の INBOX] が表示されます。

ここに入力/設定

ここをクリック

- ③ メニューバーの [Mail] - [環境設定] をクリックします。

ここをクリック



[Mail 環境設定] 画面 (Mac OS X 10.2 以上の場合は [アカウント] 画面) が表示されます。

- ④ ②で設定したメールアカウントを選択し、[編集] をクリックします。

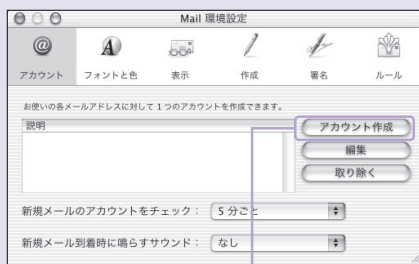
ここを選択

ここをクリック



## ヒント メールアカウントを設定していない場合

②でメールアカウントを設定していない場合には、④の画面で [アカウント作成] をクリックします。アカウント情報を設定する画面が表示されるので、②と同様に各項目を入力/設定してください。



ここをクリック

## ユーザー認証の設定

プロバイダによっては、迷惑メールの送信や第三者の中継による悪質ないたずらなどを防ぐために、メール受信の操作でユーザー認証 (ユーザーが本人であることの確認) を行っている場合もあります。そうしたサービスをお使いの場合には、先にメール受信を行わないとメールの送信はできません。

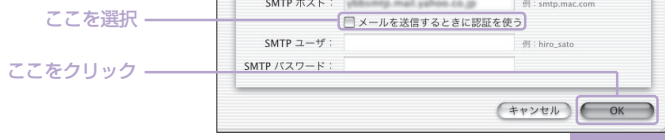
しかし、Mac OS X の Mail は SMTP-AUTH 機能\*に対応しているため、簡単な設定 (次の⑤~⑥の操作) を行うだけで、順番を意識することなく送受信の操作を行うことができます。

\* SMTP-AUTH: メール送信時にユーザー認証することにより、メールの送信許可を行う方法。

- ⑤ SMTP-AUTH 機能を有効にする場合は、次の設定を行います。

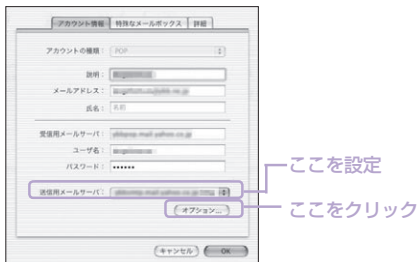
■ Mac OS X 10.1 以下の場合

[メールを送信するときに認証を使う] にチェックをつけ、[OK] をクリックします。

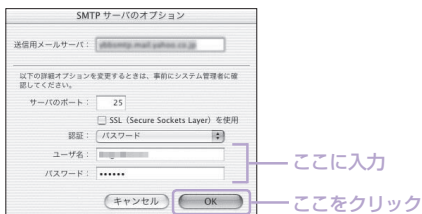


■ Mac OS X 10.2 以上の場合

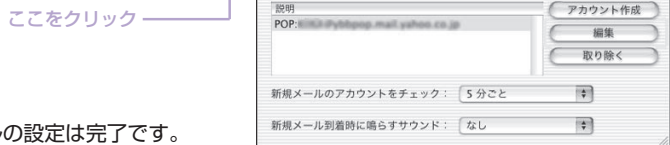
- (1) [送信用メールサーバ] にプロバイダから通知されたものを設定し、[オプション] をクリックします。  
[SMTP サーバのオプション] 画面が表示されます。



- (2) [ユーザー名]、[パスワード] を入力し、[OK] をクリックします。  
Mac OS X 10.2 以上の場合、これでメールの設定は完了です。



- ⑥ 左上の赤い [X] をクリックして、[Mail 環境設定] 画面 (Mac OS X 10.2 以上の場合) を閉じます。



これでメールの設定は完了です。

◆メールの送受信がうまくいかない場合は、「トラブルシューティングガイド」の「ADSL サービス よくある質問」をご覧ください。

# ルータ機能の詳細設定

ADSL モデムは初期状態のままでもお使いいただけますが、ご自分でさらに詳細な設定を行いたい方は、次の手順で各設定を行ってください。

！ ここまでの操作で、インターネット接続に必要な設定はすべて完了しています。以降の作業は、ADSL モデムのルータ機能をご自身で詳細に設定したいという方のみご参照ください。

各種機能は、ADSL モデムに LAN ケーブルで接続したパソコンから、ブラウザを利用して設定します。

ここでは、Internet Explorer で設定する手順を紹介します。

## 各種機能を設定する

ここでは、次の 4 つの機能の設定方法を紹介します。必要に応じて設定を行ってください。

### ■ IPアドレス/DHCP サーバの設定 (👉 P52)

ネットワークの設定によっては、使用する IP アドレスを指定する必要があります。初期設定されている IP アドレスを変更したい場合は、こちらの手順を行ってください。

### ■ ポート転送 (静的 IP マスカレード) の設定 (👉 P54)

ADSL モデムに、ネットワーク対応ゲームなどのネットワークアプリケーションのポート番号<sup>(注)</sup>とパソコンの IP アドレスを設定します。ネットワークアプリケーションが利用できない場合に、ポート転送を設定することで使えるようになる場合もあります。

(注) アプリケーションで使用するポート番号に関しては、メーカーにお問い合わせください。

### ■ UPnP機能の設定 (👉 P56) ※ Windows Me / XP でのみ設定可能

UP n P (Universal Plug and Play : パソコンや周辺機器をネットワークへ簡単に接続するための規格)を設定します。UPnP を利用することで、ルータに接続したパソコンからでも、特別な設定なしにインスタントメッセージやネットワーク対応ゲームを利用することができます。

### ■ NAT 機能の設定 (👉 P58)

NAT (Network Address Translation) は、1 つのグローバルな IP アドレスを複数の機器で共有するための機能です。この機能を有効にすることにより、複数台の機器がインターネット接続可能となります。

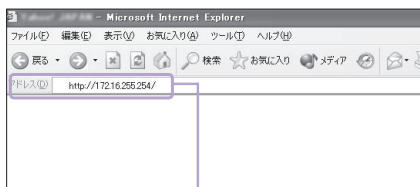
## 「セットアップメニュー」画面を表示する

- ① Internet Explorer で、次のアドレスにアクセスします。

http://172.16.255.254/

※ブラウザでホームページにアクセスする（表示させる）方法は、「ブラウザでホームページを見る」(P38)でご確認ください。

ログイン画面が表示されます。



ここを入力

- ② [ユーザー名] と [パスワード] を入力します。

[ユーザー名] user

[パスワード] user (初期値)

※「user」はすべて半角小文字で入力してください。

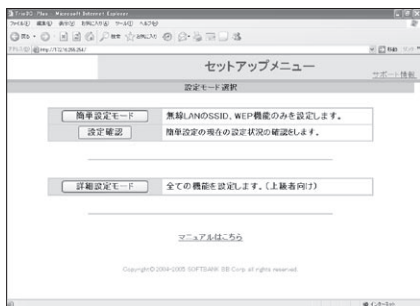
※パスワードは、任意のものに変更可能です（「ログインパスワードの変更」(P70)）。



ここを入力

ここをクリック

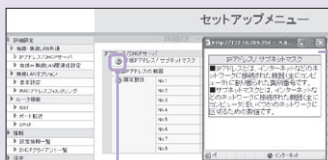
- ③ 「セットアップメニュー」画面が表示されます。



各種設定は、この「セットアップメニュー」画面から行います。

### ヒント 説明文の表示

設定手順の途中で、わからないことや用語の意味を確認したいときなどは、画面中の「？」をクリックすると、別画面で説明文が表示されます。



関連した説明文が表示される

「？」をクリック

## IPアドレス/DHCP サーバの設定

- ① 「セットアップメニュー」画面を表示し、[詳細設定モード] をクリックします。



- ② 左側に表示されたメニューから「IPアドレス/DHCPサーバ」をクリックします。



- ③ 「本機 IPアドレス/サブネットマスク」欄に、次のように表示されていることを確認します。

[IPアドレス] : 192.168.3.1

[サブネットマスク] :  
255.255.255.0

通常は、この設定 (初期値) のままで利用できます。



- ④ 「固定割当」欄に、各パソコン (LANアダプタ) に割り当てる IP アドレスと LAN アダプタの MAC アドレスを入力します。

[割当 IP]

パソコン (LAN アダプタ) に割り当てたい IP アドレス

[MAC アドレス]

LAN アダプタの MAC アドレス  
入力が終わったら、[OK] をクリックします。



- ⑤ 左側に表示されたメニューから「再起動」をクリックします。



ここをクリック

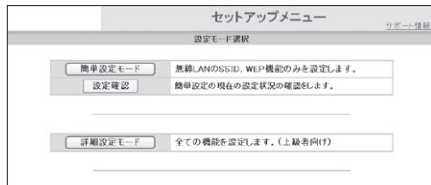
- ⑥ ADSL モデムの再起動を確認する画面が表示されます。  
[OK] をクリックします。



ここをクリック

- ⑦ 設定した内容を保存するために、ADSL モデムが再起動されます。しばらくそのままお待ちください。

- ⑧ 「セットアップメニュー」画面に戻ります。



IPアドレス/DHCPサーバの設定は以上で完了です。

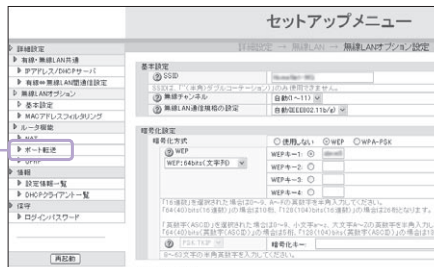


## ポート転送（静的IPマスカレード）の設定

- ① 「セットアップメニュー」画面を表示し、[詳細設定モード] をクリックします。



- ② 左側に表示されたメニューから「ポート転送」をクリックします。



- ③ ご利用のアプリケーションに必要な設定内容を入力します。

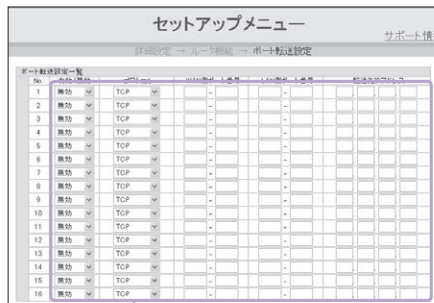
**[有効 / 無効]**  
設定内容の有効 / 無効を選択します。

**[プロトコル]**  
アプリケーションが使用するプロトコルを [TCP] [UDP] [TCP/UDP] の中から選択します。

**[WAN 側ポート番号]**  
インターネットからアクセスされるポート番号を入力します。

**[LAN 側ポート番号]**  
転送先のポート番号を入力します。

**[転送先 IP アドレス]**  
転送したい IP アドレスを入力します。



❗ ここで設定するポート番号およびプロトコルは、アプリケーションによって異なります。アプリケーションの製造元のメーカーにお問い合わせください。

- ④ 入力が終わったら、[OK] をクリックします。

セットアップメニュー

No.	有効	無効	TCP	UDP	ICMP	IGMP	OSPF	SSH	SNMP	HTTP	HTTPS	FTP	SMTP	POP3	IMAP	LDAP	SMTPS	IMAPS	LDAPS
3	無効	▼	TCP	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
4	無効	▼	TCP	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
5	無効	▼	TCP	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
6	無効	▼	TCP	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
7	無効	▼	TCP	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
8	無効	▼	TCP	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
9	無効	▼	TCP	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
10	無効	▼	TCP	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
11	無効	▼	TCP	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
12	無効	▼	TCP	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
13	無効	▼	TCP	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
14	無効	▼	TCP	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
15	無効	▼	TCP	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
16	無効	▼	TCP	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼

UPnPで使用するポートを表示する  表示しない  表示する

設定保存

ここをクリック

- ⑤ 左側に表示されたメニューから [再起動] をクリックします。

セットアップメニュー

設定決定

- 無線LAN接続
  - 無線LAN接続の再起動
- 無線LAN接続
  - 無線LAN接続の再起動
- 基本設定
  - MACアドレスフィルタリング
- インターネット接続
  - NAT
  - ポート転送
  - UPnP
- 設定確認一覧
  - IPv6接続の再起動
- 保存
  - 再起動

再起動

ここをクリック

- ⑥ ADSL モデムの再起動を確認する画面が表示されます。  
[OK] をクリックします。

Microsoft Internet Explorer

本機の再起動には約50秒ほどかかります。よろしいですか。

ここをクリック

- ⑦ 設定した内容を保存するために、ADSL モデムが再起動されます。しばらくそのままでお待ちください。

- ⑧ 「セットアップメニュー」画面に戻ります。

セットアップメニュー

設定モード選択

簡単設定モード 無線LAN/SSID、WEP機能のみを設定します。  
 簡単設定の現在の設定状況の確認をします。

詳細設定モード 全ての機能を設定します。(上級者向け)

ポート転送の設定は以上で完了です。

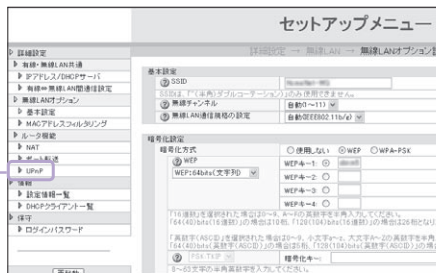
## UPnP 機能の設定

※初期値では [有効] に設定されています。

- ① 「セットアップメニュー」画面を表示し、[詳細設定モード] をクリックします。



- ② 左側に表示されたメニューから「UPnP」をクリックします。



- ③ [有効] を選択します。



- ④ [OK] をクリックします。



- ⑤ 左側に表示されたメニューから「再起動」をクリックします。



ここをクリック

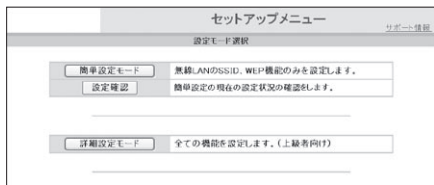
- ⑥ ADSL モデムの再起動を確認する画面が表示されます。  
[OK] をクリックします。



ここをクリック

- ⑦ 設定した内容を保存するために、ADSL モデムが再起動されます。しばらくそのままお待ちください。

- ⑧ 「セットアップメニュー」画面に戻ります。

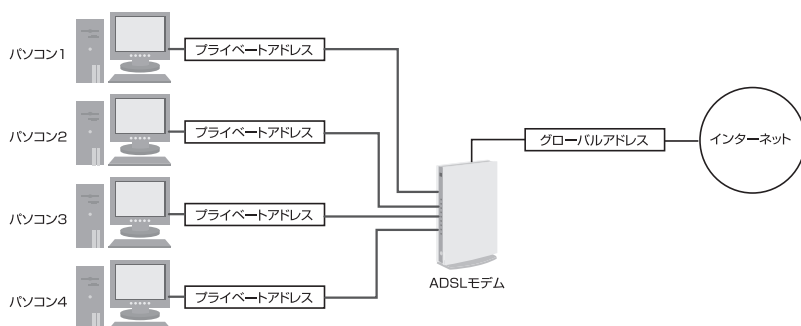


UPnP 機能の設定は以上で完了です。

## NAT機能の設定

「NAT」は、**Network Address Translation**の略です。インターネットに接続する場合に、1つのグローバルなIPアドレスを、複数の機器で共有するための機能です。家庭内などのローカルネットワーク上でのみ通用するIPアドレス（ローカルアドレスまたはプライベートアドレス）と、インターネット側のグローバルなIPアドレスを相互変換することで実現しています。この機能により、ADSLモデムでは、複数の機器から同時にインターネットに接続できます（図を参照）。

なお、NATによってIPアドレスの相互変換をした場合、インターネット側からはローカルネットワーク上で実際にインターネットとデータをやり取りしているパソコンは見えません。そのため、セキュリティ対策にもなります。



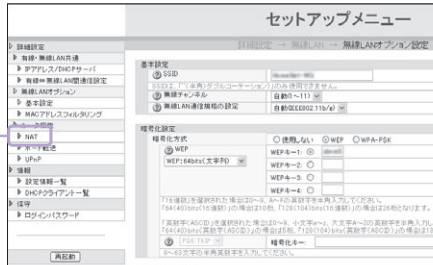
- ① 「セットアップメニュー」画面を表示し、「詳細設定モード」をクリックします。

ここをクリック



- ② 左側に表示されたメニューから「NAT」をクリックします。

ここをクリック



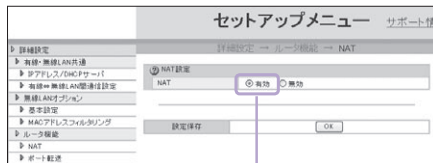
- ③ 「NAT 設定」欄から希望の設定を選択します。

**[有効]:** 1つのグローバルなIPアドレスを、複数の機器で共有します。  
複数台のパソコンをADSLモデムに接続し、インターネットにつながることができます。

**[無効]:** NAT機能を使用しません。インターネットを利用可能なパソコンは1台のみです。

**!** ご利用のアプリケーションによっては、NAT機能を「有効」にすると正常に動作しなくなる場合もあります。こうした場合には、ソフトウェアメーカーまでお問い合わせください。

ここをクリック



- ④ 入力が終わったら、「OK」をクリックします。

ここをクリック



- ⑤ 左側に表示されたメニューから、[再起動] をクリックします。

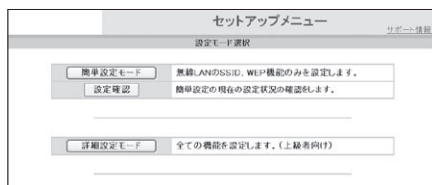
- ⑥ ADSL モデムの再起動を確認する画面が表示されます。  
[OK] をクリックします。



ここをクリック

- ⑦ 設定した内容を保存するために、ADSL モデムが再起動されます。しばらくお待ちください。

- ⑧ 「セットアップメニュー」画面に戻ります。



NAT 機能の設定は以上で完了です。

# 設定の確認、パスワードの変更

## ■設定情報一覧 (👉 P61)

ADSL モデムに設定されている設定内容を一覧表示させます。

## ■ログインパスワードの変更 (👉 P62)

「セットアップメニュー」画面にログインするためのパスワードを変更します。

## ■UPnP ポート転送設定一覧 (👉 P64)

UPnP 機能によって割り当てられるポート設定の一覧を表示させます。

## ■DHCP クライアント一覧 (👉 P64)

ADSL モデムの DHCP によって割り当てられている各パソコン (LAN アダプタ) の IP アドレスと MAC アドレスの一覧を表示させます。

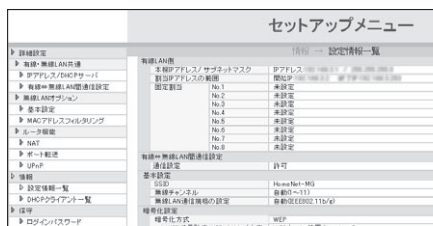
### 設定情報一覧

- 1 「セットアップメニュー」画面を表示し、[詳細設定モード] をクリックします。左側に表示されたメニューから「設定情報一覧」をクリックします。

ここをクリック



- 2 ADSL モデムに設定されている設定内容を確認できます。





## ログインパスワードの変更

- ① 「セットアップメニュー」画面を表示し、[詳細設定モード] をクリックします。



ここをクリック

- ② 左側に表示されたメニューから「ログインパスワード」をクリックします。



ここをクリック

- ③ 新しいパスワードを設定します。

[現在のパスワード]  
現在のパスワードを入力します。  
(初期値: user)

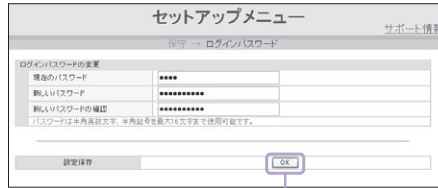
[新しいパスワード]  
変更したいパスワードを入力します。

[新しいパスワードの確認]  
確認のため、もう一度新しいパスワードを入力します。



ここに入力

④ [OK] をクリックします。



ここをクリック

⑤ 左側に表示されたメニューから [再起動] をクリックします。



ここをクリック

⑥ ADSL モデムの再起動を確認する画面が表示されます。  
[OK] をクリックします。



ここをクリック

⑦ 設定した内容を保存するために、ADSL モデムが再起動されます。しばらくそのままでお待ちください。

⑧ 「セットアップメニュー」画面に戻ります。



ログインパスワードの変更は以上で完了です。

## UPnP ポート転送設定一覧

- 1 「セットアップメニュー」画面を表示し、「詳細設定モード」をクリックします。左側に表示されたメニューから「ポート転送」をクリックします。

ここをクリック



- 2 「UPnP で使用中のポートを表示する」を「表示する」にします。

UPnP によって割り当てられているポート設定を確認することができます。

ここをクリック



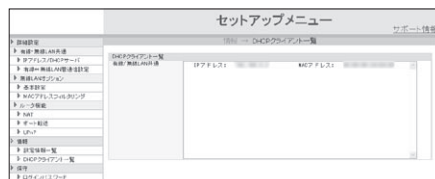
## DHCP クライアント一覧

- 1 左側に表示されたメニューから「DHCP クライアント一覧」をクリックします。

ここをクリック



- 2 ADSL モデムの DHCP によって割り当てられている各パソコン (LAN アダプタ) の IP アドレスと MAC アドレスの一覧を確認できます。



# 登録情報 一覧表

ご自身が登録情報をお忘れになった場合の備えとして、ぜひご活用ください。

お申し込みの際の登録情報		お申し込みの際に申込書にてご登録いただいた情報をお書きください。	
お申し込み者名			
お申し込み電話番号		(        )	—
お申し込み住所			

メールの情報		メールの設定についての情報をお書きください。	
メールアドレス			
アカウント			
メール受信 (POP3) サーバー			
メール送信 (SMTP) サーバー			

ADSL モデムの製品情報		ADSL モデム本体の裏面に貼付のシール記載の情報をお書きください。 MAC アドレスは 12 桁の英数字、シリアルナンバーは「S/N」につづく 15 桁の英数字です。 <small>※シリアルナンバーの桁数は変わる場合もあります。</small>	
MAC アドレス			
シリアルナンバー		S/N	
その他の情報 (自由記入欄)		上記のほか、メモしておきたい情報などがありましたら、ご自由にご記入ください。 <small>例) 無線 LAN (ご利用の方のみ) の SSID、WEP キー        など</small>	

インターネットの接続がうまくいかない場合は、モデム表面のリセットボタンを押してください。